

本町オリベストリートを抜け土岐川にかかる多治見橋を渡ると、長瀬本町通りに入る。長瀬商店街のあるこの通りは「下街道」の一部である。江戸時代の下街道は土岐川右岸河原・堤防の道であったが、大雨のたびに冠水するため、明治20年(1887年)には長瀬本町通り～池田町屋間の内陸を直線で結ぶ道に付替えられた。明治33年(1900年)に中央線名古屋・多治見間が開通し多治見駅が開業すると、駅への主要道路となった長瀬本町通りは荷馬車・荷車が増え、商店が軒を重ね栄えた。大正期の地図からは運送会社、商店や娯楽施設が立ち並んでいた様子がみられる。



長瀬本町通り五差路のモザイクアート
左 下街道、右 今渡街道



長瀬本町通り東端の山周商店の屋根神様
左 津島様、右 秋葉権現

・屋根神様 長瀬本町通り

の東端にある山周商店の屋根に祠が有る。右側に秋葉権現が火災予防を祈り祀られ11月中旬に祭りが、左側に津島様が病疫予防を祈り祀られ7月12日に「ながせ祇園祭」が催される。現在でも各町内にはどちらかの祠があり年に一度のお祭りが開催される。

・虎溪道標 長瀬本町通りの下街道から永保寺への参詣道の入り口で「虎溪道 大正五年

八月建立 廿原(つづはら)村 山田駒吉(1916年)と刻銘された道標がある。今渡街道と下街道との分岐点で、今渡街道は多治見駅の方へ向かう。明治13年(1886年)下街道土岐川右岸堤防道を多治見橋から長瀬本町通り⇒中之郷通りに付替えたカギの手が残っている。

・大日公園(大日如来) 今渡街道を多治見駅に向かうと祠に納められた「大日如来像」、「弘法大師図像」、「馬頭観音」、「秋葉山祠」が祀られている大日公園がある。「大日如来像」は奈良の唐招提寺にあったのを多治見の住人が譲り受けたと伝えられている。大日如来は密教真言宗の仏で、他の如来と異なり冠や飾りを付け、印相を組む。多くの菩薩は印相を組まないが大日如来の印相は瞑想している法界定印(禅定印)で強い意志を伝える智拳印である。この大日如来は智拳印を組んでいるが、珍しいのは忍者の結ぶ印に似て普通は左手の人差し指を右手で握るが、この如来は逆手に結んでいる。



大日公園の大日如来像



虎溪道標

多治見観光ボランティアガイド

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

会報誌の活動報告を見ていつも感心するのは、会員の皆様が素晴らしい活動を行っておられることです。

昨今のコロナ感染症の影響にも関わらず、限られた条件の中でしっかりとした事業が行われていることに敬意を表すとともに、皆様の今後ますますのご活躍を期待しております。

広報担当副会長 加藤誠二

発行所 **一般社団法人 多治見法人会**
〒507-0831 多治見市新町1丁目18番地
電話 (0572) 23-5538
FAX (0572) 25-0866
URL <http://www.tajimihoujinkai.jp/>
e-mail: info@tajimihoujinkai.jp

編集 **一般社団法人 多治見法人会 広報委員会**

印刷所 **丸理印刷株式会社**
岐阜県瑞浪市学園台5丁目1番地の1
電話 (0572) 68-7111

広報委員会

担当副会長	加藤 誠二 (多治見)	委員	柴田 幸一 (瑞浪)
委員長	高垣 守宏 (可児)	委員	若尾 宗徳 (可児)
副委員長	松井 啓至 (瑞浪)	委員	亀井 哲司 (可児)
委員	田中 勝也 (多治見)	委員 (青年部会)	中山 研吾 (瑞浪)
委員	林 浩司 (多治見)	委員	加知 良浩 (瑞浪)
委員	河地 勝彦 (多治見)	委員 (女性部会)	西尾 英子 (多治見)
委員	加藤 海蔵 (土岐)	委員	古川 嘉子 (多治見)
委員	加藤 晃一 (土岐)		
委員	塚本 修久 (瑞浪)		